

# 感動一点 の場

## 『ヴィナス』

1939年 小川原 脩 画

「毎日制作を続けている。創作することの困難を今日も終日身にしみて感じた。何か非常にユニークなセンスは出て来ないものか。誰もがその作品に接して初めて体験するといった様な全く新しいセンス。そんなセンスが出てこないだろうか。その様な作品！」

昭和13年の小川原脩の創作ノートへの記述である。

目の前に対象となる現実のモノがないシュールリアリズム絵画、小川原の制作への苦悩はまだまだ続く。

小川原のシュールリアリズム絵画には頻繁に植物が描かれる。しかも、意思を持った植物のようにである。昆布の林をかき分けるように現れたヴィナス。彼女の身体には昆布がまとわり付くが、臆することなく前へと進み続ける。精緻な描写といえる作品である。

(板橋区立美術館所蔵)



# ふる探訪 さと

334回

# あの時代 この時代



その19 「レルヒ中佐滑降の地」 昭和40年

レルヒ中佐が羊蹄山スキー登山を実行したのは、明治45年4月17日のことでした。

その前の日に通称小黒の山（現在の旭ヶ丘公園内）でスキーのデモンストレーションを行いました。

それから50数年後の昭和40年3月、オーストリアのスキー教官の倶知安訪問にあわせ「スキーまつり」（「倶知安雪まつり」「雪の祭典」と名称が変化）の行事として、旭ヶ丘スキー場の一角に高さ3メートルの木柱を建てました。

2011年、レルヒ中佐が倶知安でスキー術を披露し羊蹄山スキー登山を実施して99年目を迎えます。



＜北海道新幹線のシンボルマーク「北海道新幹線、次は札幌へ」

広報くっちゃん1月号  
NO 984  
平成23年1月1日発行

倶知安町の公式Webサイト  
<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp>  
倶知安町役場代表 Eメールアドレス  
[info@town.kutchan.lg.jp](mailto:info@town.kutchan.lg.jp)

■発行・編集  
倶知安町企画振興課広報広聴係  
〒044-0001

虻田郡倶知安町北1条東3丁目  
☎ 0136 22 1121 ㊟ 0136 23 2044

■印刷 (有)旭太陽堂印刷



結成10年初めての全道大会へ  
**倶知安バスケットボール少年団**  
11月の予選大会で1位を勝ち取り、1月7～9日に江別市・恵庭市で行われる第36回北海道ミニバスケットボール大会への出場が決定しました。  
キャプテンの高颯太くん(俱小6年)は、「6年生は今季最後、全道の切符を手にしてとても嬉しい。初めての全道で1試合でも勝てるように頑張ります。」と熱い思いを語ります。  
チームの団結力見せつけてください。